

「遠野市体育協会の取り組み」

遠野市体育協会は、昭和29年の設立以来、現在27種目の競技団体と9地区の地区体育協会で構成され、様々なスポーツ事業を実施しています。

平成28年度に当協会が実施した主な取り組みや話題を紹介いたします。

■ ボランティアとして希望郷いわて国体を支援

平成28年10月1日から開催された希望郷いわて国体。当市はサッカー競技少年男子が開催され、期間中1万5千人を超える方が遠野運動公園等に来場しました。当協会では、ボランティアとして駐車場係等に従事し大会の運営に協力しました。また、各競技団体も各地の大会運営にそれぞれ従事し、高い競技レベルを体感。国体のレガシーとして、今後のスポーツ振興や競技レベルの向上に生かされるものと思います。



当市で開催された希望郷いわて国体サッカー競技少年男子の様子と駐車場係として従事した体育協会関係者

■ 幅広い市民が参加する「市民スポーツ大会」

当協会では、地区対抗による種目別スポーツ大会を開催しています。種目は、野球・ソフトボール・グラウンドゴルフ・駅伝・卓球・ソフトバレーボールの6種目。ポイント制による6種目の総合順位も決定し、翌年度の総会時に表彰しています。それぞれの大会には、各地区体育協会チームを結成し出場しますが、平成28年度はおよそ950人の市民が出場しました。地区ごとでそれぞれの目標に向かって取り組みを進めることから、スポーツ振興はもちろんのこと、地域づくりにも寄与しています。そのほか、地区別ではないス

ポーツ大会も各競技団体が自主的に開催しており、幅広い市民がスポーツに親しむ機会となっています。



通算58回を数える継走(駅伝)大会の様子

■ “わらすっこ”の健全育成を支えるために

当協会では、当市の将来を担う“わらすっこ(子どもたち)”の心身の育ちを支えるため、市スポーツ少年団本部と連携し各種事業を実施しています。指導者向けのセミナーや子どもたちの交流を深めるニュースポーツの交流大会など、わらすっこの健全育成にも寄与しています。今後は、総合型地域スポーツクラブ等のスポーツ組織とも幅広い連携を行い、市のスポーツ振興を図る中核的な組織としてさらなる活動を進めていきたいと思っています。



スポーツ少年団と共催したセミナー「コーディネーショントレーニング体験会」